

*お願い 各館の開館日・時間を確認の上、ご来館下さい（毎月第4日曜日は幽霊博物館以外、見学できます）

平野郷・町家ゾーン



- ①末吉(西)家 坂上氏の子孫、七名家の一家
- ②藤岡家 8月第4日曜、開館 江戸期の商家(元油商)
- ③今野家 江戸期の豊ぶき農家



④粕谷家 8月第4日曜、開館 江戸期の商家(元質商)



⑤松下家 江戸期の農家

平野は大阪の中でも、最も早く開けた町で、戦国時代には環濠と土居で自衛し、町民が町を運営する自治都市として、堺と共に、近世史に、その足跡を残しています。その商人の富は、大阪の町づくりに力を貸し、江戸時代大和川つけ替えによって、隆盛した河内木綿の集散地として繁栄しました。また商業の発展は、文化の交流を呼び、連歌や、茶道、能楽などを町民に普及させ、連歌所や民間の学問所、含翠堂の創立をみました。戦火に遇わなかった町は、江戸時代そのままに、新旧の町並み、多数の社寺や地蔵堂などの文化財に恵まれ、京都大学の故 西山卯三先生は、町そのものが、博物館だと話されています。

事務局 平野の町づくりを考える会 〒547-0044 大阪市平野区平野本町4-12-21 全興寺内 TEL 06-6791-2680 FAX 06-6791-2698 <http://www.omoroide.com>

幽霊博物館

平野上町1-7-26 大念佛寺
開館日 8月第4日曜日(9時~16時)

大念佛寺は融通念佛宗の総本山で、本堂は大阪府下最大の木造建築物である。当山には幽霊が残っていた「亡女の片袖」をはじめ、数々の幽霊の掛軸がある。



パズル茶屋

平野本町4-12-21 門前茶屋おもしろ庵
開館日 毎日(10時~18時) 水 定休

当店主の黒田誠さんがコレクションされた組木パズル・知恵の輪・移動パズルなど古今東西のパズルが100種類以上揃っている。店内でお茶を飲みながら手にとって遊ぶことができる。



新聞屋さん博物館

平野本町4-12-3 小林新聞舗
開館日 毎月第4日曜(9時~17時)

「小林新聞舗」は創業が明治22年の大阪市内で一番古い朝日新聞販売店である。建物はモダンなアーチ型の窓がある大正風で、所蔵の明治からの新聞や、号外などの資料も見られる。



くらしの博物館

加美鞍作1-3-19 がんこ平野郷屋敷
開館日 毎日(11時半~22時)月一回不定休

代々豪農として栄えた辻元家の屋敷を生かしてご馳走を提供しているのが「がんこ平野郷屋敷」で、展示室には昔の道具や什器など河内の文化や生活用品が並べられている。



鎮守の森博物館

平野宮町2-1-67 杭全神社
開館日 毎月第4日曜日(9時~17時)

貞観4年(862)に氏神としてスサノオノミコトを祀ったのが杭全神社の起こりである。樹齢800年の大楠や、神聖な場所として大切に守られてきた鎮守の森は生きた博物館である。



平野町ぐるみ博物館

8月第4日曜日
博物・博芸スペシャルデイ
当日は常設博物館以外に幽霊博物館・大道芸並びに特別展示館が多数加わります。

街頭紙芝居実演
実演時間 毎月第4日曜日
午後2時、3時(2回)

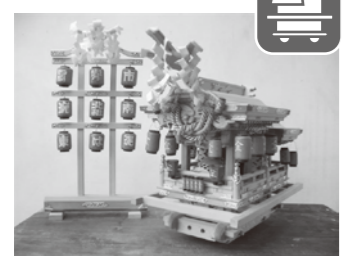
歴史のまちなみ模型
平野本町4-12-21 おも路地
開館日 毎日(全興寺西門横)
江戸時代の町並みと、平野郷夏祭りの賑わいをリアルに再現。



ちっこいだんじり館

平野東1-2-19 有田
開館日 毎日

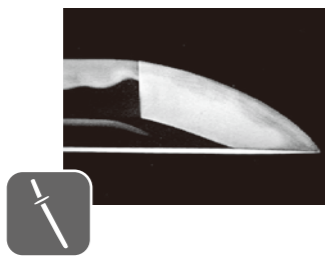
平野郷・杭全神社の夏祭りは、江戸時代から300年を超える歴史があり今日まで継承されている。中でも「だんじり」は子どもたちの心をとらえ、町中にわが子や孫のために作られた手作りだんじりが数多くある。「小さなだんじり」を楽しんでいただき、7月13日の九町の勇壮なだんじり宮入りにも是非お越しください。



かたなの博物館

平野本町3-8-1 御刀研庵 真澄庵
開館日 毎日(10時~17時)不定休

創業3代目の刀剣研師・真津仁彰さんとその一門「日本刀真澄会」有志による日常では目にする機会のない研磨実技の公開と砥石や道具類と関連作品の展示もあり、我が国が世界に誇る「鉄の美の極致」日本刀について平易な解説と質疑応答も行われて興味深い。



和菓子作り体験博物館

平野本町2-12-15 平野菓業 梅月堂 西店
開館日 毎日(9時~19時) 水 定休

創業より三代目 店内に代々受け継がれた菓子作りの道具を展示。オープン工房では平野酒饅頭、笈掛の松、へっついさんなど平野郷に因んだ銘菓の製造工程を見学できます。毎月第4週目の日曜日(13時~14時)は季節の生菓子作りの体験もできます。要予約 定員5名 有料 電話 06-6791-1970



ゆうびん局博物館

平野西3-1-5 コミュニティルーム
1階開館日 平日(9時~17時)

平野郵便局は明治6年6月1日に「住吉郡平野郷野堂」(平野本町4丁目)に3等郵便所として開設。変遷を経た由緒ある郵便局である。明治時代の封筒や、切手、預金通帳など、懐かしい丸型ポスト、歴史を映す絵はがきも展示。資料・本の閲覧もできる。



珈琲屋さん博物館

平野本町5-5-17 珈琲苑 茶坊主
開館日 毎日(11時~20時)

店主が集めた道具を展示し、歴史の説明もある。なかでも、150年~100年前に作られたミルやロースターカップ&ソーサーは珈琲のロマンをかきたてられる一品。開館日には、明治時代の珈琲や13世紀頃のトルコ珈琲なども再現して、限定メニューとして楽しむことができる。



へっついさん博物館 おもしろライター博物館

平野本町3-12-2 長尾家

昭和20年代、平野付近でほとんどの家で煮炊きに使用されていたへっついさんは、家庭の燃料がガスや電気に代わる前まで台所の主役であった。薪を焚き口にくべて実際に使用できるへっついさんを店先にしつらえ、珍しい雑道具のミニへっついも展示している。



駄菓子屋さん博物館

平野本町4-12-21 全興寺
開館日 土・日曜・祝日(9時~17時)

「全興寺」は聖徳太子によって薬師堂が建てられ、そこから町が作られたと伝えられる寺である。境内の一角にある博物館には昭和20~30年代頃駄菓子屋さんに並んでいたおもちゃが展示されている。他に「地獄堂」「ほとけのくに」もある。



平野の音博物館

所在地 平野本町4-12-21 全興寺内
開館日 土・日曜・祝日 9:00~17:00

聞き耳本舗 (ききみみほんぽ)

平野の音博物館の中心である。ここでは、聞き耳処や音泉として分散配置している様々な音を、CD(コンパクトディスク)で聴くことができる。聞き耳本舗以外にも、平野の様々な場所に因んだ音を聴くことのできるサテライト博物館を展開している。

駄菓子屋さん博物館内
昭和レトロ・ジオラマ展
林史葉作
懐かしい昭和の生活をジオラマで再現。